

隠れた名曲から辿る音楽史

Chapter
13

ピアノ科ベーシックコース主教材『ピアノ・レパートリー 1・2』で取り上げている作曲家の作品や生涯、当時の時代背景などをとおして、古今東西の音楽の歴史を紐解いていきます。



『ピアノ・レパートリー 2』P.28

メロディ

～「10の風俗的小品」より～

作曲：J.マスネ

オペラ作曲家として有名なマスネですが、ピアノのための小品も数多く手がけています。

『メロディ～「10の風俗的小品」より～』は、『10の風俗的小品』Op.10の第5曲で、物悲しく哀愁を帯びたメロディーが特徴です。

のちにこの曲はピアノ以外の楽器やオーケストラに編曲されていますが、中でも劇音楽「復讐の女神たち（復讐の三女神）」の第3番「エレジー」として編曲された歌曲は、甘美な旋律が印象深く、マスネの代表曲の1つとして今日まで高い人気を誇っています。

ジュール・マスネ (1842年-1912年)

ロマン派の時代に活躍した、フランスの作曲家、音楽教師です。

幼少期よりピアノ教師だった母の指導を受け、音楽の才能を見せたマスネは、1853年にパリ国立高等音楽学校に入学。1863年にはローマ賞（優れた若手芸術家に与えられる賞）を獲得するなど、優秀な成績を収めます。裕福ではなかったため、在学中はカフェのピアノ奏者や劇場でオーケストラの打楽器奏者などをして学費を稼いでいましたが、こうしたことから得た知識や経験も、のちの活躍につながっていきます。

1867年、『大伯母』の初演でオペラデビューを果たしますが、まもなくプロイセン王国との戦争が起こり、マスネも兵士として従軍します。1871年に終戦を迎えると創作活動を再開し、オペラを中心に名声を高めていきます。1878年からはパリ音楽院作曲科の教授を務め、後進の育成にも力を注ぎました。その後も精力的に創作を続け、彼のオペラ作品の人気はフランスに留まらず諸外国にも広まっています。オペラ作曲家として世界的な大成功を収めました。



代表作 オペラ『マノン』、『ウェルテル』、『タイス』／管弦楽組曲第4番『絵のような風景』

マスネくんに聞く

フランス・オペラの歴史 ～19世紀編～



“オペラ”と聞くと、イタリアやドイツを思い浮かべる人が多いかもしれませんが、フランスのオペラもなかなか魅力的なんだよ。今回はボクが生きた19世紀のフランス・オペラを紹介するね。

オペラが誕生したバロックの時代から長い間、オペラの歌はイタリア語が主流だったんだ。でも、フランスは比較的早い時期から自国語を用いたオペラを作っていて、独自のオペラを確立していった19世紀初頭にはヨーロッパ屈指のオペラを中心地となり、国内外の作曲家はパリでの成功を目指してこぞって創作に励んでいたんだよ。

19世紀前半、貴族に代わりブルジョワジー（市民階級）が台頭した時代に登場したのは、『グランド・オペラ』というフランス独特のオペラ様式。グランド・オペラは、豪華絢爛な舞台装置と、バレエや大人数の合唱を含む5幕におよぶ大規模な形式が特徴で、全盛期には本家イタリアのオペラに影響を与えるまでになったんだ。当時、フランス国内のオペラは、このグランド・オペラと伝統的なイタリア・オペラ、そしてオペラ・コミック（18世紀末頃に成立したセリフ入りのオペラ。話し言葉のようなオペラの歌は『レチタティーヴォ』というよ）の3つに分かれ、上演する劇場も区別されていたよ。

けれども、19世紀半ばを過ぎると、グランド・オペラは社会情勢や芸術性などの理由から衰退。代わって、短くて陽気なオペレッタ（喜歌劇）が人気を集めるようになっていったんだ。

栄華を誇ったフランス・オペラは、やがて時代の変化とともに歴史の中へ埋もれていくのだけど、数々の傑作やグランド・オペラの様式、表現手法は、数多くの作曲家に大きな影響を与えたんだよ。

19世紀フランス・オペラのキーパーソンと代表作



G.マイヤーベア (1791-1864)

ドイツ人作曲家。イタリアで名声を得た後、パリでグランド・オペラの第一人者として黄金時代を築く。

代表作 『ユグノー教徒』



L.H.ベルリオーズ (1803-1869)

交響曲の大家でもある異彩のフランス人作曲家。『トロイアの人々』はグランド・オペラ史に残る超大作。

代表作 『トロイアの人々』



J. オッフエンバック (1819-1880)

オペレッタの創始者であり、専用の劇場を開いて人気を集める。ドイツ出身で、のちにフランスに帰化。

代表作 『地獄のオルフェ（天国と地獄）』



G.ビゼー (1838-1875)

フランス人作曲家。『カルメン』はオペラ・コミック様式で書かれたフランス語オペラの金字塔。

代表作 『カルメン』、『アルルの女』

ピアノ・レパートリー 1・2

～時代様式、スタイルを学ぶ～

「ピアノ・スケッチ」を修了程度のお子さまから大人の初心者の方までを対象に、著名作曲家の作品を中心として、四期（バロック、古典、ロマン、近現代）それぞれの時代様式の特徴がよく表われている楽曲を集めたテキストです。



ピアノ・レパートリー 1

- 定価：1,000円＋税
- 品番：T31-114
- 対応級：ピアノ科ベーシックコース 5～2級
- 収録曲：全15曲



ピアノ・レパートリー 2

- 定価：1,000円＋税
- 品番：T31-115
- 対応級：ピアノ科ベーシックコース 3～2級
- 収録曲：全12曲

対応SMFミュージックデータ [1巻：6曲セット / 2巻：4曲セット] 定価：各800円＋税
『ローランド ネットワーク サービス』会員専用ページにてダウンロード購入いただけます。